

(様式第 10 号)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：長野県バイアスロン連盟]

[記載日：令和 6 年 5 月 3 0 日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	A B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 該当しない	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 連盟会則、会計規程などに基づき運営している。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 一般法令はもとより、特に銃砲刀剣類所持等取締法、火薬類取締法に重点を置き、より一層法令遵守に心がけている。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 連盟役員は、長野県公安委員会指定射撃指導員など、公的身分が明らかな者で構成されている。	

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 当連盟は、日本バイアスロン連盟の下部団体であるため、基本方針は同じである。 ホームページ上に掲載している。	
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 上部団体のコンプライアンス研修を受講し、伝達研修を行っている。	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 上記同様に、伝達研修を行っている。	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 会計規則に則って処理を行い、外部監査を行っている。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 該当事項なし。	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 会計規則に則って処理を行い、外部監査を行っている。	

原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ホームページを立ち上げ、情報開示を行っている。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 年間の計画については、ホームページ上で順次更新の予定です。	
原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則 ■ について	A B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 該当しません。 NF のガバナンスについては、日本バイアスロン連盟のホームページを参照してください。	
原則 ■ について	A B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ホームページに掲載しています。	